

## 64期生 木村 伊央里 さん

(大阪教育大学在学中)



## 〇心のギャップ

今回は「八尾レオクラブ」で活動されている64期生の木村伊央里さんにインタビューしました。「八尾レオクラブ」は八尾ライオンズクラブの若手のボランティアグループになります。今年で3年目を迎えるそうです。「八尾まつり」「英語弁論大会」等ライオンズクラブの地域活動に協力しています。木村さんはグループの立ち上げから参加しています。八尾高時代には英語弁論大会にも参加した経験があり、今年の英語弁論大会でもお世話になると思います。

また、木村さんは現役の大阪教育大学小学校養成五年課程の現役の大学生でもあります。現在教員採用試験の真ただ中にインタビューを快諾してくれました。

早速、教員志望の理由をお尋ねしようとしたら、意外な答えが返ってきました。実は高校時代から教員志望だったのかということではなかったそうです。一方で家庭も含めて周りの方々から八尾高校の入学が決まった時に「大学は教育大ですね」と言われたそうです。確かに本校では教育系大学を受験する生徒は多いですし、教師をされている卒業生も多いのは事実です。

ところが、木村さんは歌手(J-pop)を志し、高校時代にいろいろなオーディションも受けていたそうです。現在でもライブハウスで歌ったり踊ったりしているそうです。

いろいろ「心の葛藤」があったと思います。それに「歌手になる夢」は自分がまず、なりたいたいと思わないと叶いませんから。

## 〇心の転機



そんな木村さんが現在は教員採用試験の準備をしていると言います。どんな心境の変化があったのかをお尋ねしました。大学生の就職活動は春から始まり、教員採用試験の準備や企業就職の活動が開始されます。

木村さんは2月7日に「将来を選択しないと」考え始めました。大学院への進学や企業就職、行政職、いろいろ将来について・・・そして2月16日、企業のHPからエントリーシートを書こうとした時に「一般企業ではない」と理由ははっきりしないが感じたそうです。

(注1)

「八尾レオクラブ」でボランティア活動するなどアクティブな木村さんですが、大学には目的もなく入学してしまったそうです。センター試験も十分に得点できなかった。多くの受験生が悩む点ですね。

ここで大学生活について質問してみました。大阪教育大学小学校養成五年課程は授業が 18 時から始まるので午前中にバイトもできるし、小学校の特別支援員をする学生さんも多く、お勧めだそうです。授業は 18 時～21 時 10 分まで、ここからサークル活動をされる学生も多いそうです。大学の先生方と学生の距離が非常に近く、アットホームな大学とのこと。小学校教員を志す受験生は 1 つの選択肢になるかもしれません。

## ○納得のいく仕事にすること

話を戻して、最終的には小学校教員になることを決心したことが、意外なほど保守的な考えを木村さん自身が持っていることに気付いたそうです。また、決めた以上は「納得のいく仕事になるように」と考えていると断言されました。

この言葉は私も共感できる言葉です。思ったように仕事に就けることは大変幸せなことだと思います。しかし、多くのケースで思うようにいかないのも事実です。そんな時に大切なことは自分で「納得ができるか」、「納得できるように努力ができるか」が大切になると思います。“考え方はポジティブに” そんなことを木村さんはインタビューで教えてくださいました。

教員採用試験の合格の報告をお待ちしています。



注1 大学生の就職活動は前年度に企業インターンシップに参加して始まります。企業説明会の参加は企業の HP からエントリー・シートを記入し申し込みます。すべてインターネット上で行う就職活動が主流となっています。その後、面接へと進みます。手軽に複数のエントリーができるので申込み数が必然的に多くなり、なかなか面接まで進まず悩んだり、内定を取ることによって大学生は苦勞しているようです。

木村さんからのアドバイスはSPI 試験とエントリーシートが企業就職の重要なポイントなるとのことでした。